



# イニシアティブゲーム

梵珠少年自然の家

## 1 活動のねらい

- ・グループで取り組むことによって仲間意識を高めることができます。
- ・グループ内での意思疎通を図り、協力する態度を養うことができます。
- ・課題を解決することでよろこびや満足感を味わうことができます。

【教科への対応】 小学校：体育など 中学校：保健体育など

【組合せ可能な活動プログラム】 屋内プログラムなど

## 2 活動の概要

エリア内に設定された様々な課題をグループで協力しながら解決する活動です。それぞれの課題を解決することも大切ですが、むしろ、その課題に取り組む過程が重要です。

### (1) 人数 160人以内

※一度に実施できるのは80人程度のため、他のプログラムと組み合わせて実施することが望ましい。

### (2) 対象 小学校5年生～中学生・高校生

### (3) 期間 4月下旬～11月

### (4) 時間 2時間（説明30分＋活動90分）

### (5) 場所 自然の家活動エリア

### (6) 経費 無料

### (7) 指導 実施方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



<危険物処理班>

## 3 準備物

団体	救急薬品
個人	汗ふきタオル、帽子、軍手、運動しやすい服装
自然の家	鉛筆、カードホルダー、ピブス、ふりかえりカード、用具一式、スズメバチ用殺虫剤、無線機（8台）

## 4 引率者の役割分担

役割名	内容
代表責任者	1名。責任者として自然の家に残り、全体の総括、指揮、連絡にあたる。
スタート・ゴール	1～2名。玄関前でグループのスタートとゴールの確認をする。
ポイント担当	5名。各ポイントで、課題の出題を行い、計時、安全管理、活動補助をする。
パトロール	数名。コースを巡回し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。



<ナビゲーション>



<日本列島>



<ラインナップ>

## 5 活動の流れ

	内 容
説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール、安全管理、服装（長袖・長ズボン・帽子・軍手）について説明</li> </ul>
準 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループに活動順番について説明</li> <li>・鉛筆、カードホルダー、ピプス、ふりかえりカードの貸出、配付</li> </ul>
活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ポイントから活動順番に従って同時にスタート。</li> <li>・パトロール係は巡回指導</li> <li>・各ポイントで課題解決の方法を見つけ出す。（協力が大切！）               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 危険物処理班</li> <li>② ジャンボシーソー</li> <li>③ 日本列島</li> <li>④ ナビゲーション</li> <li>⑤ ラインナップ</li> </ol> </li> <li>・全員のゴールを確認する。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえり</li> <li>・借用物品を返却（無線機は事務室へ返却）</li> </ul>

## 6 実施上の留意点

- ・課題の目的やルールについて把握しておく。
- ・グループ内で課題に取り組む過程が重要なので、ポイント担当者は行き過ぎた助言などはしないようにする。ただし、危険と判断した際は活動を一旦中止させる。
- ・グループのレベルに合わせた内容の課題で行う。

## 7 安全に実施するためのポイント

- ・「ナビゲーション」では目隠しをしておいた活動となる。極度に不安を感じる参加者に対しては無理に実施させない。眼鏡をかけている参加者は、破損を防ぐため必ず外して活動する。
- ・「ラインナップ」では、道路側を向いて並ぶ。
- ・危険な動植物（ヘビ・ハチ・ウルシ等）への対処方法について確認する。
- ・熱中症対策のため、十分な水分補給をさせる。（途中の休憩必須）

## 8 エリア地図



【改訂ポイント】  
 関門⑥の『クモの巣くぐり』を廃止し、それに伴いコースを短縮した。